

ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

三代 徳田 八十吉 さんだいとくだ やそきち
昭和8年(1933)ー平成21年(2009)

耀彩鉢 黎明 ようさいはち れいめい

平成11年(1999)
茨城県陶芸美術館蔵
h7.1×w50.1cm

三代徳田八十吉は、祖父や父から伝統的な九谷焼の技法を学び、その後、釉薬の調整法や焼成法などの研究を重ね、1997年に重要無形文化財「彩釉磁器」保持者(人間国宝)に認定されました。彩釉磁器とは、本焼した磁胎に色釉を施し焼き付ける技法で、三代八十吉の彩釉磁器は、九谷五彩から赤を抜いた、黄、緑、紺青、紫を調合した色釉により、色彩の微妙な変化の美しさや、色彩の対比の美しさが表現されているところに特徴があります。本作品は、実際の風景から着想を得たもので、太平洋に昇る日の出の美しさを表現したものです。

主な内容

- ▼ 新春賀詞交歓会を開催
- ▼ フォローアップ研修を行いました
- ▼ 建災防県支部の29年度上半期講習日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

若者に選ばれる魅力ある産業へ

平成29年新春賀詞交歓会を開催

本会は、(一財) 県建設技術管理センター、県建設業協同組合と共に平成29年の新春賀詞交歓会を1月10日、水戸市内の水戸京成ホテルで開催し、来賓や会員など約250人が出席。前身から数えて100年を迎える節目の年に、県土発展や防災・減災など地域社会への貢献はもとより、若者に選ばれる魅力ある産業となるため、一層の団結を誓い合いました。

賀詞交歓会は、橋本昌県知事や本県選出の国会議員、県議会議員をはじめ、県幹部職員や建設関連各団体の代表などを来賓に迎え、盛大に開催しました。



岡部会長

冒頭、岡部会長は「大正6年5月に当協会の前身である県土木建築請負業組合が結成され、ことしで100年を迎える。あらためて今日あることは皆さまのご尽力の賜物」と礼を述べた上で「協会および会員の発展に向け引き続き尽力していく所存でございます。また企業経営の健全化を進め、若者に選ばれる夢のある産業として、その魅力を高めるために最大限の努力をしていく覚悟です。関係各位の皆様により一層のご支援、ご協力をお願いします」とあいさつ。

その後、来賓各位がそれぞれ祝辞を披露。来賓紹介の後には、高橋靖水戸市長の発声で乾杯し、本年のさらなる飛躍を誓い合いました。



議員や行政幹部、関係団体などから約250人が出席



高橋水戸市長の発声で乾杯し、さらなる飛躍を誓い合いました

一致団結し地域社会に貢献

新年迎え、一層の飛躍誓う

ご来賓から 祝辞を頂きました



橋本 昌 茨城県知事

本年度上期の執行率8割を達成することができ、全国で2番目の執行率となりました。災害に強く便利な県土を造り上げていくとともに、県単事業の充実も図っていくので、ご支援をお願いします。



梶山 弘志 衆議院議員 (自由民主党県支部連合会会長)

来年度予算は本年度より微増となり、2012年を底にしてしっかりと公共事業の予算を確保しています。公共事業の品質確保に向けて、改正担い手3法の運用状況を調べ、徹底を図ります。



藤島 正孝 県議会議長

安心安全ないばらきづくりにご尽力いただきありがとうございます。今後も持てる技術力を発揮して、さらに強靱な県土づくりをお願いします。



額賀 福志郎 衆議院議員

インフラがわれわれの生活を支えていることを確認しながら、しっかりとインフラの整備を進めていきたいと思っています。



田所 嘉徳 衆議院議員

地震などの自然災害はどこで発生するかわかりません。皆さまの活躍により、安全安心が大いに発展する茨城県となることを期待しています。



岡田 広 参議院議員

建設業を通して、本県のさらなる発展のために、さらに力を尽くしていただきますことを心からお願い申し上げます。



佐藤 信秋 参議院議員

本年は調査基準価格を引き上げたいと思っています。また働く人々の単価がピーク時まで戻っていないので、戻していきます。

賀詞交歓会参加者の声

- ◆発注者には改正品確法の主旨を理解した対応をお願いしたい（県央）
- ◆圏央道の開通によって、県内全域の景気が上向いてくれることを期待している（県南）
- ◆何よりも地域間格差が解消されることを願っている（県西）
- ◆強い県土づくり、地域の安全安心を守るには地域の事業量増加が必要。本年に期待している（県北）
- ◆週休2日やICT土工の導入など、新しい流れが来ているが、適切に対応するためには、それ相応の予算付けをしっかりとさせていただきたい（県南）
- ◆公共事業予算の確保に期待している。適正な利潤を確保して、地域に貢献していきたい（鹿行）
- ◆建設フェスタをはじめとする活動の充実を図るとともに、広報活動にも力を入れていきたい（未来協）

新規入職者定着を図る フォローアップ研修開催

本会は昨年12月2日、新規入職者などを対象としたフォローアップ研修を水戸市青柳町の県建設技術研修センターで開催しました。会員各社の若手社員42人が参加し、一人ひとりが仕事に取り組む姿勢などを再確認しました。

本会は、会員各企業の新規入職者定着を図るため、年度当初に研修会、年末にフォローアップ研修を実施しています。今回の研修では、全国建設



産業教育訓練協会の富士教育訓練センター講師である花輪孝樹氏を講師に迎え、コミュニケーション力や安全力、スピーチ力などを確認しました。

宿泊、共用棟が完成

富士教育訓練センター



本会が就職前準備研修などで利用している富士教育訓練センターの「宿泊棟・共用棟」の建て替え工事が完了しました。本会は今後も積極的に同施設を活用していきます。

留意点や最新技術学ぶ

道建協と舗装技術講習会を開催

本会は昨年12月26日、水戸市青柳町の県建設技術研修センターで日本道路建設業協会（道建協）関東支部と舗装技術講習会を開催し、約180人の技術者が舗装工事の留意点や最新の舗装技術を学びました。

冒頭、秋山光伯本会舗装部会長は「技術力の向上が求められている。講義を今後の仕事に役立てていただきたい」とあいさつ。道建協関東支部の小番知夫事務局長は「常に知識の集積を怠らないようにしていただきたい」と激励。来賓では、県土木部の古平祐次技監兼検査指導課長がさらなる技術力向上に期待しました。

講義では、県潮来土木事務所道路管理課の道口直人係長が砕石マスタック舗装（SMA）による



約180人が舗装工事について学びました

修繕コストおよびLCCの縮減について説明。続いて国土交通省関東地方整備局の増田善智道路路管理課建設専門官、県建設技術管理センターの益子保則係長が講演しました。

キャップ約 100 万個をNPOへ

1200人分のワクチン代に



建設フェスタではボトルキャップアートに使用しました

県建設産業団体連合会が中心となり、社会貢献活動の一環として集めたペットボトルキャップ約100万個をNPO法人キャップの貯金箱推進ネットワーク（埼玉県さいたま市、戸塚幹男理事長）に

贈呈しました。キャップは売却され、世界の子どもたち約1200人分のワクチン代となります。

またキャップは、昨年10月30日に開催された「建設フェスタ2016」において、子どもたちによるボトルキャップアートにも使用されました。

会員の皆さまはじめ関係者各位に、キャップ回収へのご協力についてお礼申し上げます。

本会は今後も地域貢献活動などに積極的に取り組んでまいります。



約100万個のキャップが集まりました

大子支部 活動報告

大子西中で建設体験学習

大子支部（大藤博文支部長）は1月6日、大子町立大子西中学校にて建設体験学習を行いました。当日は1年生17人、2年生22人の計39人が測量や重機の操作を体験しました。



大藤支部長

作業体験前に行われた開催式で大藤支部長は「われわれ建設業は皆さんの安心と安全を守るため、道路や橋、歩道を整備し、地震などの災害時にはすぐさま出動しパトロールを行うのが仕事。建設の仕事は肌で感じていただくことが、皆さんの力を伸ばすのに少しでも役立てばうれしい。楽しく元気に学んでほしい」とあいさつ。



建設機械の操作体験では、4台のミニバック



生徒たちは真剣な表情で重機を操作しました

ホウを使い、土砂をすくう作業を行った。生徒たちは間近で動く重機の迫力に歓声をあげ、操作をする際は支部員の指導を受け真剣な表情で取り組んでいました。

測量体験では高波測距儀を用い、距離や角度を測る作業を実施。初めての測量体験に生徒たちは悪戦苦闘しながらも「楽しい」「建設の仕事に興味を持った」と笑顔で話していました。

建設業労働災害防止協会茨城県支部 平成29年度開催予定表(上半期)

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
4	3	4	月 火	玉掛け	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	5	6	水 木		鹿島港湾福祉センター	(実技) 5、6日のいずれか
	7		金	足場の組立て等の業務に係る特別教育(3H)	建荷協研修センター	
	10	11	月 火	足場作業主任者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	12	13	水 木	小型車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター	(13日実技)
	14		金	足場の組立て等の業務に係る特別教育(3H)	古河市商工会三和事務所	○
	17	18	月 火	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	19	20	水 木		建荷協研修センター	(実技) 19、20日のいずれか
	18		火	丸のご等取り扱い作業従事者	建荷協研修センター2階	
	19	20	水 木	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	21		金	足場の組立て等の業務に係る特別教育(3H)	牛久市商工会館	○
	24	25	月 火	地山の掘削及び土止め支保工 作業主任者	建荷協研修センター	
	26		水			
	25	26	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター2階	(学科)
27	28	木 金	建荷協研修センター		(実技) 27、28日のいずれか	
5	1	2	月 火	職長・安全衛生責任者	鹿島港湾福祉センター	
	9	10	火 水	玉掛け	石下建設会館	(学科)
	11	12	木 金		旧石下自動車学校	(実技) 11、12日のいずれか
	15		月	自由研削用といしの取替え等の業務	牛久市商工会館	○
	16	17	火 水	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター2階	(学科)
	18	19	木 金		建荷協研修センター	(実技) 18、19日のいずれか
	18	19	木 金	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	22	23	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	23		火	酸素欠乏・硫化水素危険作業	建荷協研修センター2階	
	24		水	刈払機取扱作業	建荷協研修センター	
	25	26	木 金	足場作業主任者	つくば市商工会	○市民ホールつくばね(予定)
	30	31	火 水	小型移動式クレーンの運転	茨城県建設業協会筑西支部会館	(学科)
6/1	6/2	木 金	茨城県トラック協会県西地区研修館駐車場		(実技) 1、2日のいずれか	
6	6	7	火 水	高所作業車の運転	古河市商工会三和事務所(6日)	○(学科)
					石下建設会館(7日)	
	8	9	木 金		石下建設会館駐車場	○(実技) 8、9日のいずれか
	13	14	火 水	玉掛け (申込み受付先はつくば市商工会)	石下建設会館	○(学科)
	15	16	木 金		旧石下自動車学校	○(実技) 15、16日のいずれか
	19	20	月 火	地山の掘削及び土止め支保工 作業主任者	建荷協研修センター	
	21		水			
	20	21	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター2階	(学科)
	22	23	木 金		建荷協研修センター	(実技) 22、23日のいずれか
	26	27	月 火	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館	
28		水	足場の組立て等の業務に係る特別教育(3H)	茨城県建設業協会鉾田支部会館		
29	30	木 金	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ		

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
7	3	4	月 火	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	5	6	水 木		鹿島港湾福祉センター	(実技) 5、6日のいずれか
	7		金	丸のご取扱い作業従事者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	11	12	火 水	小型移動式クレーンの運転	牛久市商工会館	○ (学科)
	13	14	木 金		牛久運動公園	○ (実技) 13、14日のいずれか
	18		火	のり面ロープ高所作業特別教育	建荷協研修センター2階	
	19		水	自由研削用といしの取替え等の業務	建荷協研修センター	
	20	21	木 金	足場作業主任者	石下建設会館	
	24	25	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	25		火	振動工具取扱い作業従事者	建荷協研修センター2階	
	26	27	水 木	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	27	28	木 金	石綿作業主任者	建荷協研修センター2階	
	31	8/1	月 火	型枠作業主任者	建荷協研修センター	
8	8/1		火	現場管理者統括管理	建荷協研修センター2階	
	2	3	水 木	建築鉄骨作業主任者	建荷協研修センター	
	3	4	木 金	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター2階	4日実技
	7	8	月 火	職長・安全衛生責任者	古河市商工会三和事務所	○
	9	10	水 木	木造作業主任者	建荷協研修センター	
	10		木	斜面点検者安全教育	建荷協研修センター2階	
	21	22	月 火	低圧電気取扱業務	建荷協研修センター	
	23		水	安全衛生推進者(初任時)	建荷協研修センター	
	24	25	木 金	ローラー系機械(締固め用)の運転	建荷協研修センター	25日実技
	25		金	施工管理者のための足場点検実務者研修	建荷協研修センター2階	
	28	29	月 火	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	29	30	火 水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	31	9/1	木 金		鹿島港湾福祉センター	(実技) 31、9/1日のいずれか
9	5	6	火 水	玉掛け	ひたちなか商工会議所会館	(学科)
	7	8	木 金		建荷協研修センター	(実技) 7、8日のいずれか
	12	13	火 水	小型移動式クレーンの運転 (申込み受付先はつくば市商工会)	石下建設会館	○ (学科)
	⑭	⑮	⑯		木 金	石下建設会館駐車場
	18	19	月 火	地山の掘削及び土止め支保工 作業主任者	建荷協研修センター	
	20		水			
	19	20	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター2階	(学科)
	21	22	木 金		建荷協研修センター	(実技) 21、22日のいずれか
	26	27	火 水	職長・安全衛生責任者	牛久市商工会館	○
28	29	木 金	足場作業主任者	建荷協研修センター		

注：実技を伴う技能講習の実技講習日は、申込先着順に指定します。

*備考欄に「○」がある講習は、特定の団体から要請があり開催する講習会になりますので、一般での受講を希望する方は予め受講残余の枠を確認して下さい。

重点対策事項など学ぶ 海上工事施工講習会



本会は昨年11月29日に、全日本漁港建設協会県支部と「海上工事施工に関する講習会」を県建設技術研修センターで開催し、海上施工を行う建設業者や県土木部港湾課の職員など60人が参加。港則法や海上衝突予防法など海上工事における重点対策事項、ライフジャケットの取り扱い、事故事例をもとにした安全対策、油流出時の対策について学びました。

3月は 「労災防止強調月間」です 建設業労働災害防止協会



効果波及に期待 圏央道の県内全線開通



2月26日に圏央道境古河IC～つくば中央ICが供用を開始します。今回の開通により、成田空港～湘南まで接続するほか、東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東水戸線の

6本の放射状高速道路がつながることで、地域観光への貢献や沿線物流施設の生産性向上など、多大なストック効果が期待されています。

会員の動向

〈代表者変更〉

▽ 潮来支部
軍司建設(株) 軍司 修利 → 軍司 勝

ちよつと言

相撲界で、81年ぶりで茨城出身横綱が誕生した。稀勢の里関である。「おめでとう」と言いたい。

過去、茨城出身の横綱は3名。7代目稲妻雷五郎、19代目常陸山谷右衛門、34代目男女川登三である。

横綱稀勢の里関には、横綱として堂々とした気品のある相撲を取っていただき、多くの相撲ファンを喜ばしてほしい。

大いに期待している。 (O)